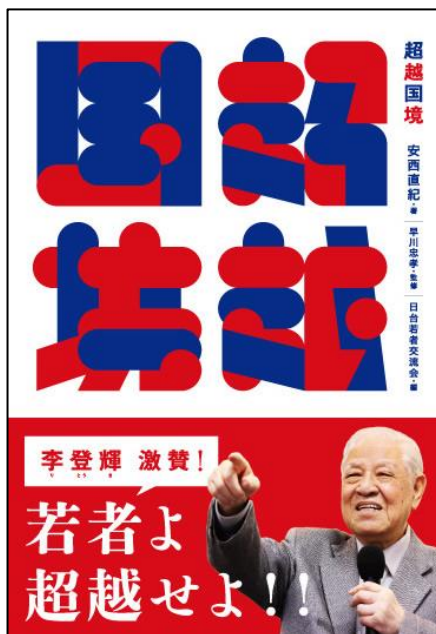


# 【新刊】『超越国境』発刊のお知らせ

～なぜ、「台湾」は、東日本大震災で200億円以上  
という義援金とその『気持ち』を届けてくれたのか？～



このたび、新刊書籍『超越国境(清水弘文堂書房)』が刊行の運びとなりましたので、お知らせいたします。

未曾有の大災害となった東日本大震災。世界中の様々な国からの支援が届く中、どの国も超える200億円を超える義援金を贈った国、「台湾」。著者、安西直紀氏は、2008年から続く、李登輝氏との個人的な交流の中で、震災後「なぜ、台湾の方々は日本に対して200億円以上という義援金とその『気持ち』を届けてくれたのか。その『気持ち』をどのようにして持たれたか知りたい」と疑問をぶつけます。その答えとして、李登輝氏は『日台若者交流会』を発足し、日本と台湾の若者同士の文化交流の中で、台湾の人々の『気持ち』を自らが、探し、考えること」を提案、そして李登輝氏が名誉会長を、安西直紀氏が代表に就任して『日台若者交流会』がスタートしました。

本書では、安西直紀氏他、『日台若者交流会』に参加したメンバーによる活動レポートの他、日台お互いの文化、国民像に対するインタビュー、台湾の歴史を学べる章など、今後の日台友好を考えるにはうってつけの一冊となっています。また、第一章では、テレビ番組「奇跡体験！アンビリバボー」で放映され話題になった、戦時下の日台若者の交流と、60年ぶりの出会い「時空を超えた友情～岡本秀世の物語～」を本人の筆により収録。国、歴史を超越した友情の熱い想いを感じることができる。他には、監修に名を連ねた元衆議院議員で、安西氏が事務局長を務める鶴田くに奨学基金 ビヨンドXプロジェクトの代表の早川忠孝氏、李登輝名誉会長の特別寄稿も収録。

まさに、日台友好の「今」を体感できる内容となっております。



宣誓

2011年3月11日に発生した、東日本大震災後、日本は台湾から200億円を超える義捐金を頂きました。

その格別なる恩義に日本人として報い、感謝の気持ちを形にするために、

「日台若者交流会」は誕生いたしました。

同会には日本と台湾の未来を担う

学生並びに若者が集い、文化交流を深めてまいります。

2012年11月3日、台湾の淡水にて執り行われた、「日台若者交流会」設立の儀。名譽会長に就任した李登輝元総統の前で、安西直紀が右手を上げて宣誓を行った。歴史に残る一幕といっても、過言ではないだろう。

## 自我の超越

特別寄稿

今般、私が名誉会長を務める「日台若者交流会」の安西直紀代表から、「超越」をテーマにした文章を依頼され非常に嬉しく感じております。というのも「自我の超越」は、私の人生に於いて精神的に非常に重要な意義を持つテーマだからです。私のこれまでの人生経験から得られたことを若い皆さんにお伝えできたらこの上ない喜びです。

これまでの人生に於いて、私はさまざまな過程を歩いてきました。政治分野では、重要な職務を任せられ、学術分野ではいくつかの学位をいただきました。しかし、一人の人間として、私は物心ついたときから「生きる」とは何か、「死ぬ」とは何か」を常に問いかけてきました。そのために、さまざまな哲学書を読んだり、キリスト教という信仰を得ることで、自我の問題や死の問題について深く考えてきました。

日台若者交流会名誉会長 李登輝

### 【書籍概要】

書名 : 『超越国境』

著者 : 安西直紀

編集 : 日台若者交流会

監修 : 早川忠孝

判形 : 四六判、本文200ページ、帯・カバー付き

定価 : 1,575円(税込)

発行日 : 2013年7月16日

発行所 : 株式会社清水弘文堂書房

東京都目黒区大橋1-3-7-207

### 【新刊】『超越国境』プロモーション映像

<http://www.youtube.com/watch?v=LvWrF2Pmluo>

■お問い合わせ先: ビヨンドXプロジェクト事務局 担当: 水口 (beyondxpro@gmail.com)